

岡井横吉 よこしげ 漢文學者、文學博士。明治五年五月二十九日福井縣丹生郡と待村生れ、昭和二十年一月十六日没（八七二—一九五）。號栴堂。明治二十一年文部省中等學校教員檢定試験で國語、漢文の二科を同時合格。石川縣と第一中學校を始り各地の中學校教諭を經り、三十八年濱島高等師範學校助教。のち渡鮮して平壤の中學校教諭に轉じ、傍ら滿洲、支那を視察。大正十一年熊本醫科大學豫科教授。昭和八年「玉篇の研究」により京都帝國大學から學位を受く。

著書に、『漢字の形音義』（大正五年六月一日六合館）、『漢語と國語』（昭和八年五月二十五日明治書院「國語科學講座」）、『栴堂存稿』（昭和十年十一月十五日熊本・有七絶堂）、『大學新講義』（昭和十六年十一月二十二日東京開成館）等。

